

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年12月11日

大阪自転車健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	62066
組合名称	大阪自転車健康保険組合
形態	総合
業種	機械器具製造業

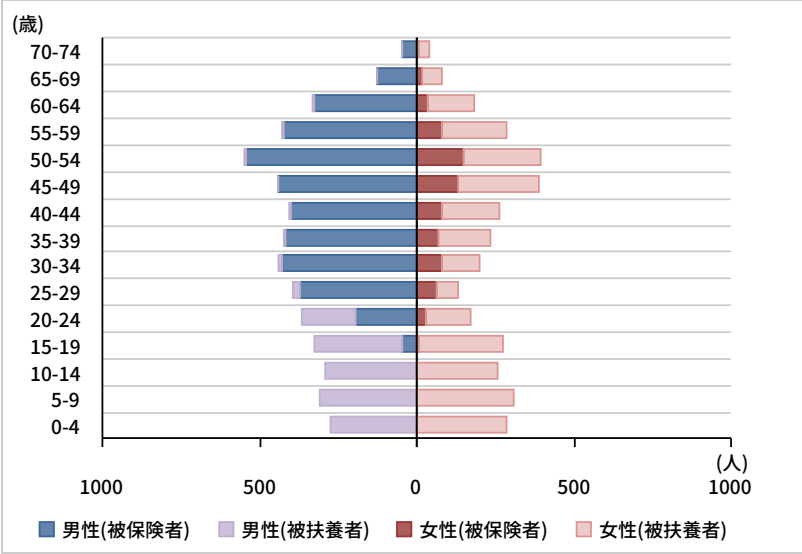
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	4,551名 男性84% (平均年齢44.1歳) * 女性16% (平均年齢44.6歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	8,692名	-名	-名
適用事業所数	53カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	53カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	103%o	-%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	1	0	-	-	-	-
	保健師等	3	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	3,003 / 3,810 = 78.8 %	
	被保険者	2,577 / 2,651 = 97.2 %	
	被扶養者	426 / 1,159 = 36.8 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	79 / 600 = 13.2 %	
	被保険者	73 / 554 = 13.2 %	
	被扶養者	6 / 46 = 13.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	4,490	987	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	2,973	653	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	6,606	1,452	-	-	-	-
	疾病予防費	130,501	28,675	-	-	-	-
	体育奨励費	1,442	317	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	10	2	-	-	-	-
	小計 …a	146,022	32,086	0	-	0	-
経常支出合計 …b	3,239,952	711,921	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.51		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	43人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	196人	25～29	370人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	430人	35～39	418人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	402人	45～49	438人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	543人	55～59	424人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	326人	65～69	126人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	44人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	3人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	29人	25～29	60人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	78人	35～39	68人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	80人	45～49	132人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	149人	55～59	78人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	35人	65～69	18人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	6人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	275人	5～9	311人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	293人	15～19	279人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	173人	25～29	25人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	14人	35～39	8人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	283人	5～9	306人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	259人	15～19	271人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	140人	25～29	66人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	119人	35～39	166人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	180人	45～49	255人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	246人	55～59	204人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	149人	65～69	62人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	35人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

被保険者は50歳～54歳が多く、59歳までを含める1,192名で全体の2.6%となる。
 前期高齢者入りを控えている人数が多い。
 特定健康診査では被扶養者の受診率が低い
 特定保健指導は被保険者被扶養者共に受診率が低い

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

被扶養者の特定健診受診率が30%で推移しており、伸び悩んでいる。
 特定保健指導の実施率が11%～13%で推移しており、伸び悩んでいる。

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	前期高齢者重症化予防対策
--------	--------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健康管理委員会
保健指導宣伝	健康管理推進事業委員会

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	健康保険事務相談
保健指導宣伝	移動健康教室
保健指導宣伝	月刊誌発行
保健指導宣伝	赤ちゃんとママ
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	パンフレットの配布
保健指導宣伝	健保ホームページ
保健指導宣伝	電話健康相談
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の促進
疾病予防	生活習慣病健診（胃検診含む）
疾病予防	婦人総合健診（胃検診含む）
疾病予防	人間ドック
疾病予防	大腸がん検査
疾病予防	子宮がん検査
疾病予防	定期健康診断
疾病予防	健康管理対策
疾病予防	レセプト点検の充実・強化
疾病予防	インフルエンザの予防接種
疾病予防	歯科健診事業
体育奨励	施設利用券の交付
体育奨励	健康体力づくり
体育奨励	プール利用割引
その他	家庭用常備薬斡旋

事業主の取組

1	定期健康診断、特定及び特殊業務健診
2	健康管理委員会
3	健康管理事業推進委員会

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	4,5	前期高齢者重症化予防対策	重症化予防対策として高血圧・糖尿病のハイリスク者への受診勧奨を実施する。	全て	男女	65～74	加入者全員		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、面談による相談は3件に留まった。	高血圧、糖尿病、脂質異常の重症化予防としてハイリスク者への受診勧奨を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所と調整の結果、多くの訪問相談を見送った。	1
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	1	健康管理委員会	被保険者・被扶養者に対する教育・相談と保険事業の推進により、健康の保持・増進をはかる。	一部の事業所	男女	18～74	その他	181	11月実施は8名が参加。3月は7名が参加	講師を招き、健康づくりに関する講演を実施した。(テーマ:11月は「良い睡眠のための知識と生活」・3月は「知っておきたいアレルギーのこと」)	限られた事業所担当者が参加となっている。業務多忙が要因となっている。	1
	1	健康管理推進事業委員会	健康事業の企画・立案・実施計画の策定、実施結果の分析・評価を行う。	一部の事業所	男女	18～74	その他	32	10月に開催し、9名が参加。	令和3年度及び令和4年度上期の保健事業の実施結果に基づく分析結果を報告し、今後の取り組み等について意見聴取した。また、5年度の保健事業について意見聴取した。	委員の増員を図る。	4
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診	40歳以上の被扶養者及び任意継続被保険者を対象としてメタボリックシンドローム等生活習慣病の予防	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者	3,669	被保険者は契約健診機関の巡回健診を実施。被扶養者は事業主の協力を得て被保険者に受診券を配布している。また被扶養者に対し12月に集合健診を実施。	被扶養者への受診券配布は5月に事業主の協力を得て被保険者に配布している。未受診者に対する勧奨通知書も同様の対応を実施し、受診を促している。被扶養者対象の集合健診を実施し一定の成果はあった	被扶養者に係る受診率が低いため、受診意識を高める方策が必要。今後も集合健診の必要性がある。	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	メタボリックシンドロームの要因となっている生活習慣病を改善・減少させる	全て	男女	40～74	基準該当者	1,567	特定保健指導実施率12.4%(動機付け支援17.9%、積極的支援8.6%)	事業主、事業所担当者、保健師との情報連携を図り実施している。	保健師が事業所を訪問のうえ、保健指導を実施している。	3
保健指導宣伝	5	機関誌発行	機関紙内容の充実を図る	全て	男女	18～74	加入者全員	2,138	年3回(1月、4月、8月)発行。	被保険者とその家族の健康づくりを推進するため、紙面づくりの内容充実を図っている。	関係団体との連携	5
	8	健康保険事務相談	事業所担当者の健康保険事務手続き等の知識習得	全て	男女	18～74	加入者全員	49	7月に算定基礎届の出張受付会場を設け、事務相談を実施。	事業所担当者との連携を図っている。また、巡回健診においても立会を実施し、事務相談を実施している。	相談内容の充実を図るとともに、事業所担当者との連携を図る。	5
	5	移動健康教室	食生活や生活習慣の改善	全て	男女	18～74	被保険者	0	新型コロナウイルスの影響から、希望事業所がなかったため今年度は0件。	事業所への意向確認の結果でありやむを得ない	参加事業所との調整を図る。	1
	5	月刊誌発行	健康等に関する情報提供	一部の事業所	男女	18～74	その他	203	組合会議員、健康管理委員及び健康管理推進委員に対し、月刊誌「すこやかファミリー」を毎月送付。	健康促進に向けた情報連携を実施。	情報内容の充実を図る。	5
	5	赤ちゃん和妈妈	育児に関する情報提供	全て	男女	18～74	加入者全員	351	被保険者・被扶養者が分娩した場合、分娩後1年間月刊誌「赤ちゃん！」を送付。また、2年目は季刊誌「ラスタス」を送付。	核家族化が進む中、少しでも育児の手助けをすることを目的に送付しており、好評を得ている。	更なる内容の充実を図る。	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	2	医療費通知	医療費の情報提供と請求誤りの是正	全て	男女	0～74	加入者全員	363	1月から11月診療分までの年間医療費のお知らせを事業所を通じて配布。	確定申告に対応できるよう早期配布を実施。	発送時期及び対象月については、健康管理事業推進委員の意見を踏まえて対応する。	5
	5	パンフレットの配布	健康保険給付及び保健事業の内容を加入者に周知する目的で、パンフレットを配布。	全て	男女	0～74	加入者全員	127	年間を通じて、対象者全員に適正に配付した。	健康保険給付や保健事業の内容の周知を図った。	予算内での実施	5
	5	健保ホームページ	各種情報を敏速かつ正確に事業所及び加入者に伝達する手段として活用する	全て	男女	0～74	加入者全員	319	事業所及び加入者に対し、各種情報を正確且つ迅速に伝達する手段として活用。	5,519件の閲覧	閲覧者の拡大を図るために更なるHP掲載の充実を図る。	5
	6	電話健康相談	病気の早期発見・早期治療の促進、ストレス・メンタルヘルスに関する悩み相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1,578	健康相談7名、メンタルヘルス2名が活用	4月号の機関誌にて周知。HPの活用等により事業の広報を実施。	利用者の拡大を図るため、周知方法等の検討	3
	7	ジェネリック医薬品の促進	服用している医薬品の差額を情報提供することで医療費の削減を図る	全て	男女	35～74	基準該当者	53	自己負担額が200円/2か月以上軽減される該当者に送付。 10月(5月～6月診療分)225名、3月(11月～12月診療分)249名	加入者に対し、機関誌にて周知を図る。 毎年実施していることにより、対象者は減少している。	対象者の減少は確認できるが、医療費の削減効果まで詳細に把握できない。	5
疾病予防	3	生活習慣病健診(胃検診含む)	検査結果に基づいて生活習慣を見直し、病気の発症を未然に防ぐ	全て	男女	35～74	加入者全員	21,399	年間受診者数1,137名	巡回健診により受診率確保につながっている。	未受診者への受診勧奨	5
	3	婦人総合健診(胃検診含む)	女性を対象とし婦人科を中心とした簡易人間ドック	全て	女性	35～74	加入者全員	3,010	被保険者64名、被保険者86名、計150名が受診。	4月号の機関誌により婦人総合健診を周知。	受診者の拡大を図る。	3
	3	人間ドック	検査結果に基づいて生活習慣を見直し、病気の発症を未然に防ぐ	全て	男女	40～74	加入者全員	265	1,469名受診。	がんの早期発見につながっている。また、要精密検査対象者に対して二次検査の受診勧奨を実施している。	受診者は年々増加しており、予算の確保が必要。	5
	3	大腸がん検査	大腸がんの早期発見・早期治療	全て	男女	18～74	加入者全員	804	450名が受診。	健診結果を基に健保組合より要精検者に対し受診勧奨を実施している。	受診者の拡大を図る。	5
	3	子宮がん検査	子宮がんの早期発見・早期治療	全て	女性	18～74	加入者全員	9	28名が受診。	要精検者に対し受診勧奨を実施している。	受診者の拡大を図る。	2
	3	定期健康診断	検査結果に基づいて生活習慣を見直し、病気の発症を未然に防ぐ	全て	男女	18～74	加入者全員	11,875	1,748名が受診。	事業所の巡回健診として実施している。受診率が高い。	未受診者に対する受診勧奨。	5
	4	健康管理対策	健診後のフォロー及び健康相談等	一部の事業所	男女	18～74	基準該当者	5,500	年間317名(面談158名、文書159名)実施	事業所の協力を得て実施している。	新型コロナウイルスの影響により文書指導が多い。	5
	8	レセプト点検の充実・強化	適正な医療給付の充実を図る	全て	男女	0～74	加入者全員	3,808	レセプト101,767枚の点検を行った。	全件点検の実施により再審査件数が減少した。	職員のレベルアップを図り査定金額を増やす。	4
	8	インフルエンザの予防接種	インフルエンザの予防及び重症化の軽減	全て	男女	0～74	加入者全員	3,442	10月から2月にかけて2,283名に補助した。	事業所に対する実施案内やホームページへの掲載により周知している。	新型コロナウイルスの影響を受け、予防接種者が減少した。	4
	3	歯科健診事業	-	全て	男女	0～74	加入者全員	476	8月から3月にかけて78名が受診した。	会場型の開催とし、ホームページや公報紙への掲載で周知している。	年々受診者が減少している。	-
体育奨励	8	施設利用券の交付	運動機会の提供、啓発による健康増進	全て	男女	0～74	加入者全員	237	年間277名に対し補助券を発行。	機関誌及びホームページにて広報を実施。	新型コロナウイルス感染拡大により利用者への影響が出た。	4
	5	健康体力づくり	運動機会の提供、啓発による健康増進	全て	男女	0～74	加入者全員	864	554名に対し利用券を発行。	事業所の協力を得て周知用ポスターを掲示。ホームページにも掲載し周知。	新型コロナウイルスの感染拡大により利用者への影響が出たが徐々に戻り始めている	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	8	プール利用割引	運動機会の提供、啓発による健康増進	全て	男女	0～74	加入者全員	054名が利用	ホームページに掲載	新型コロナウイルスの影響を受け、利用者が減少した。	3
その他	8	家庭用常備薬斡旋	家庭常備薬の充実による疾病の自己管理の向上	全て	男女	0～74	加入者全員	0年2回実施	購入者が定着しており、好評である。申込書のデータ化を行った。	利用者の拡大に向けた広報等を検討する。	5




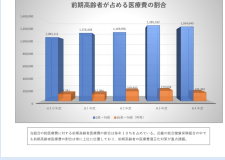
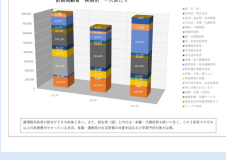
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

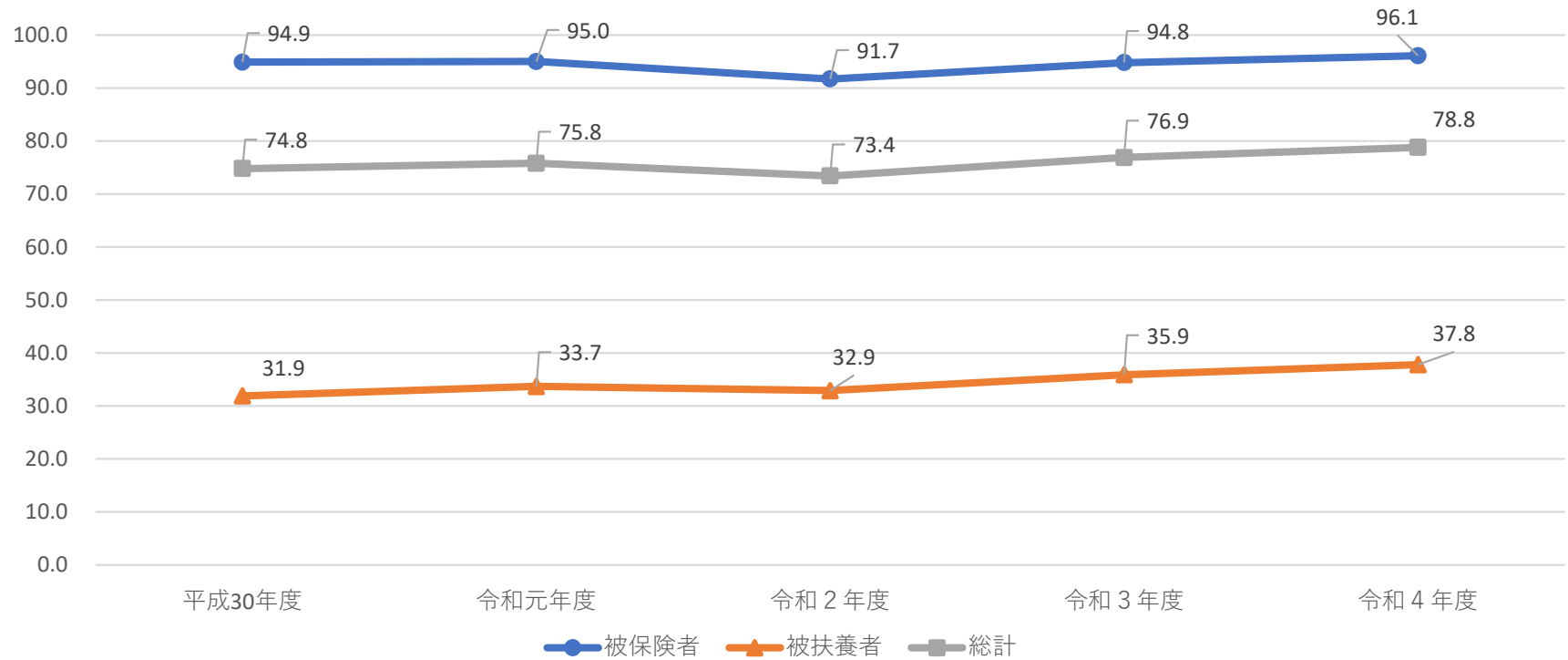
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断、特定及び特殊業務健診	<p>【目的】 検査結果に基づいて生活習慣の見直し、病気の発症を未然に防ぐ。早期発見。早期治療</p> <p>【概要】 安衛法に基づき実施</p>	被保険者	男女	18～74	各事業主において実施している取り組み及び組織体制を正確に把握していない。	契約医療機関による事業所へのバス巡回健診を実施し、未受診者対策は契約医療機関による施設健診と補助金対応にて実施。	被保険者の健康診断は、安衛法の関係もあり事業主も意識が高い。一方被扶養者の特定健診については事業主からの積極的な働きかけがない。	無
健康管理委員会	<p>【目的】 健康教育・健康相談等、健康管理の普及向上を図る</p> <p>【概要】 健康管理事業の促進を図るため年2回開催</p>	被保険者	男女	18～74	健康管理委員会は年2回開催しているが、各事業主の取り組みは正確には把握していない。	参加依頼の呼びかけと参加者への詳細な資料の提供及び健康に役立つ保健師の講演。	参加者の固定化と減少が顕著。会議資料・内容のマンネリ化を改善し、従来なかった切り口の話と講師の交替も検討。	有
健康管理事業推進委員会	<p>【目的】 健康管理事業の企画・立案・実施計画の策定、分析、評価を行う</p> <p>【概要】 年1回開催</p>	被保険者	男女	18～74	25年度より年1回の開催を行っている。	27年度より推進委員の組織体制を7名から9名に増やして事業推進の拡充を図る	委員会での情報の有効活用及び意見を実行するに至っていない。	有

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診受診率	特定健診分析	-
イ		特定保健指導実施率	特定保健指導分析	-
ウ		1 メタボ要因分析表	特定健診分析	-
エ		前期高齢者が占める医療費の割合	医療費・患者数分析	-
オ		前期高齢者 疾病別 一人あたり	医療費・患者数分析	-

特定健診受診率

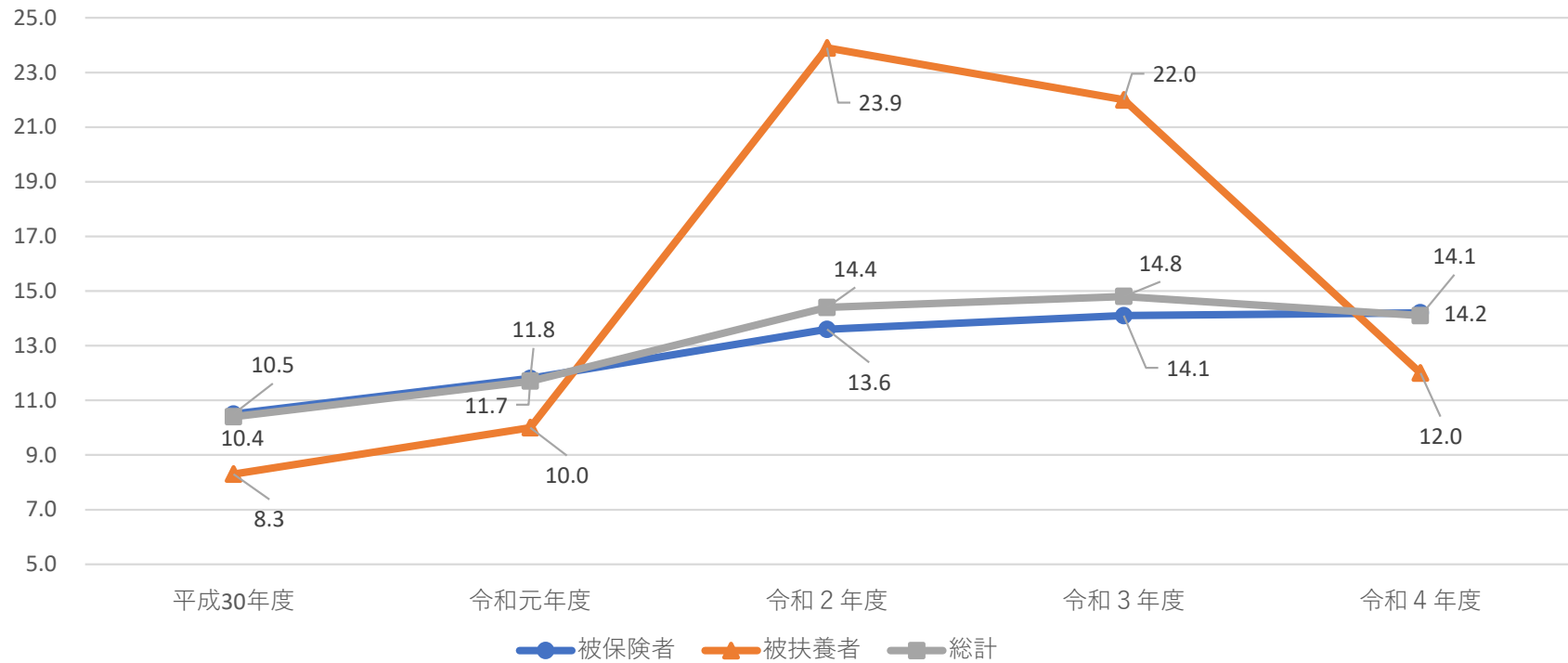


特定健診 受診率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
被 保 険 者	94.9	95.0	91.7	94.8	96.1
被 扶 養 者	31.9	33.7	32.9	35.9	37.8
総 計	74.8	75.8	73.4	76.9	78.8

被扶養者の受診率が低い

特定保健指導実施率

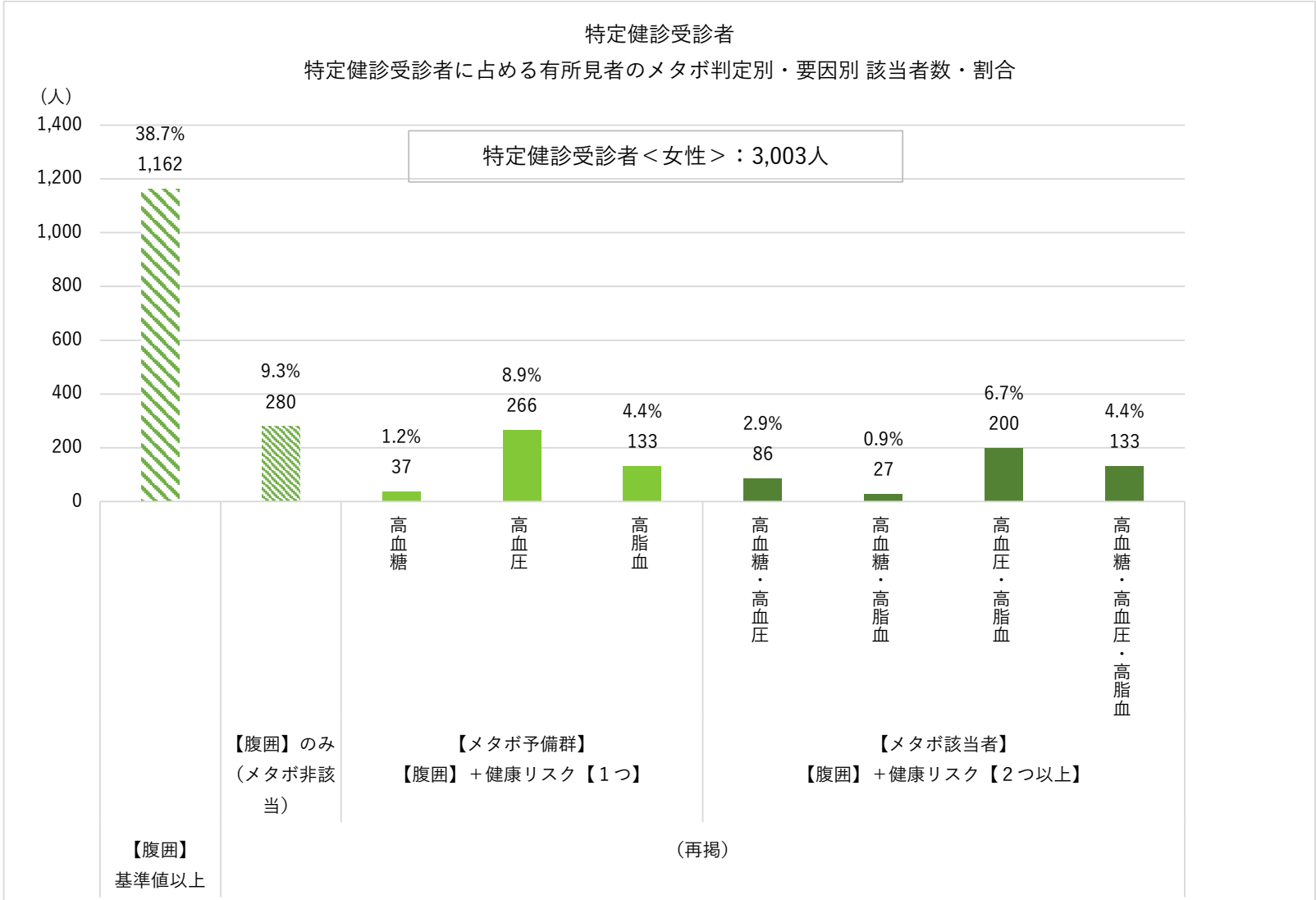


特定保健指導 実施率

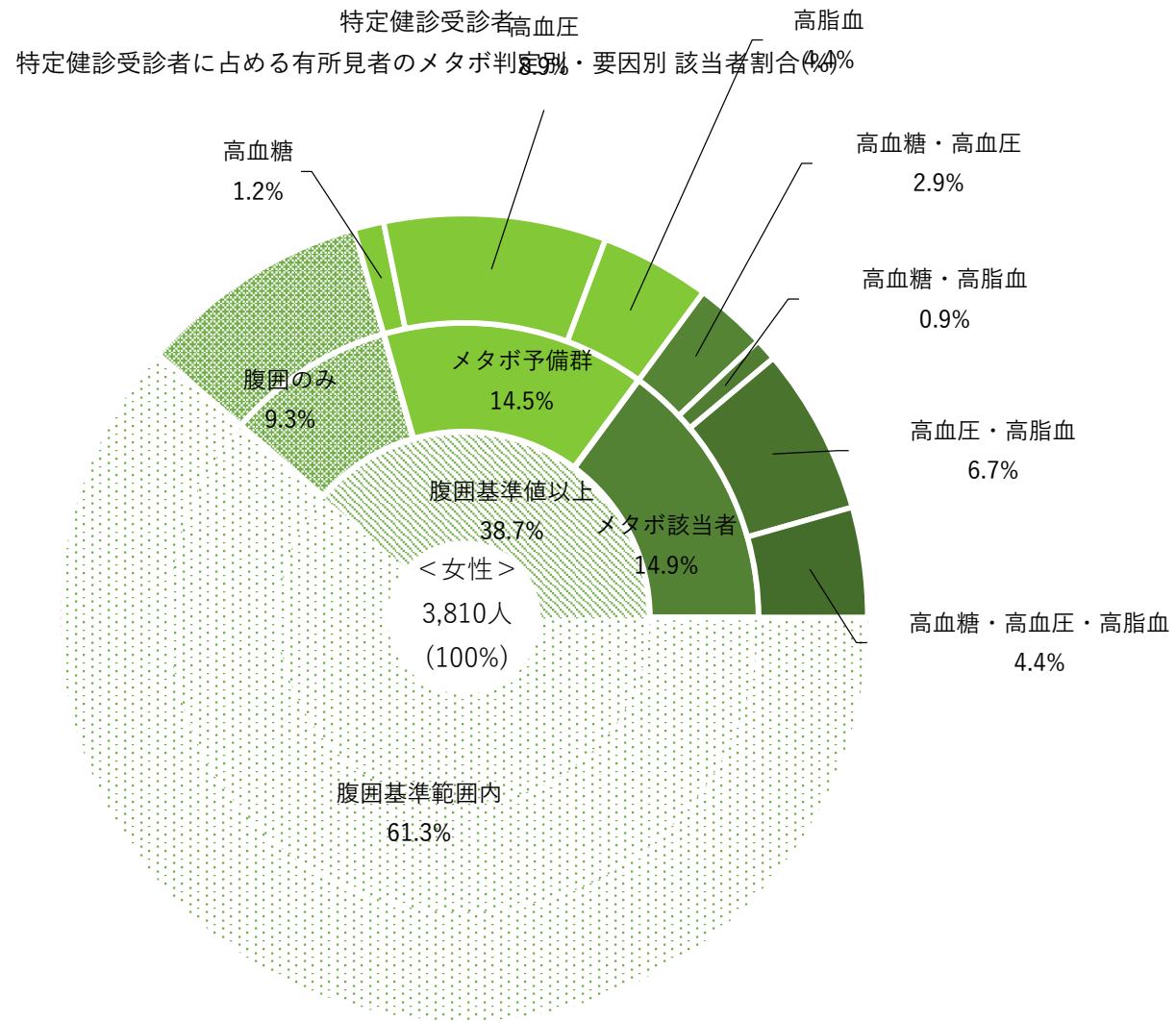
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
被 保 険 者	10.5	11.8	13.6	14.1	14.2
被 扶 養 者	8.3	10.0	23.9	22.0	12.0
総 計	10.4	11.7	14.4	14.8	14.1

実施率が低い

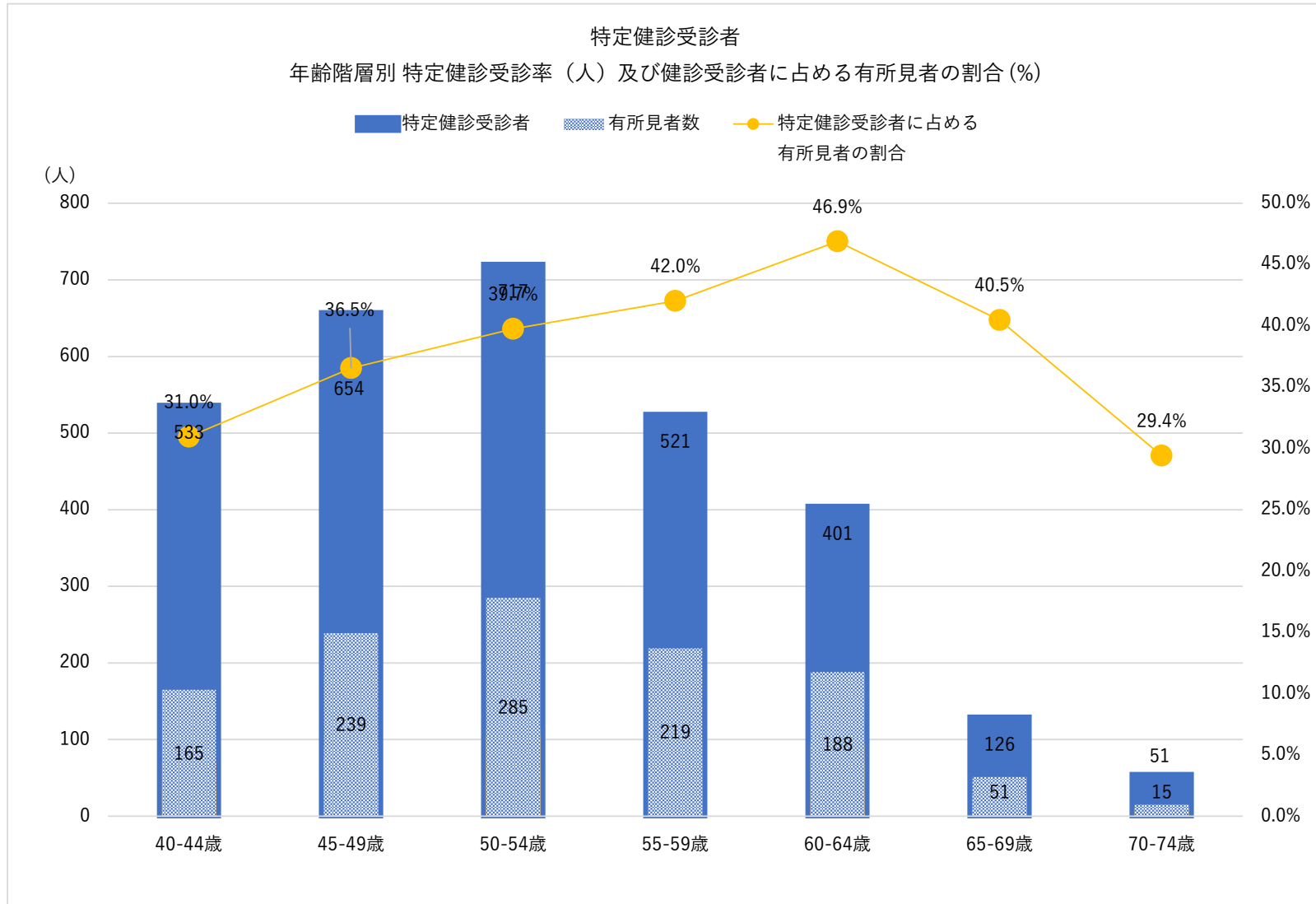
資料対応：P7



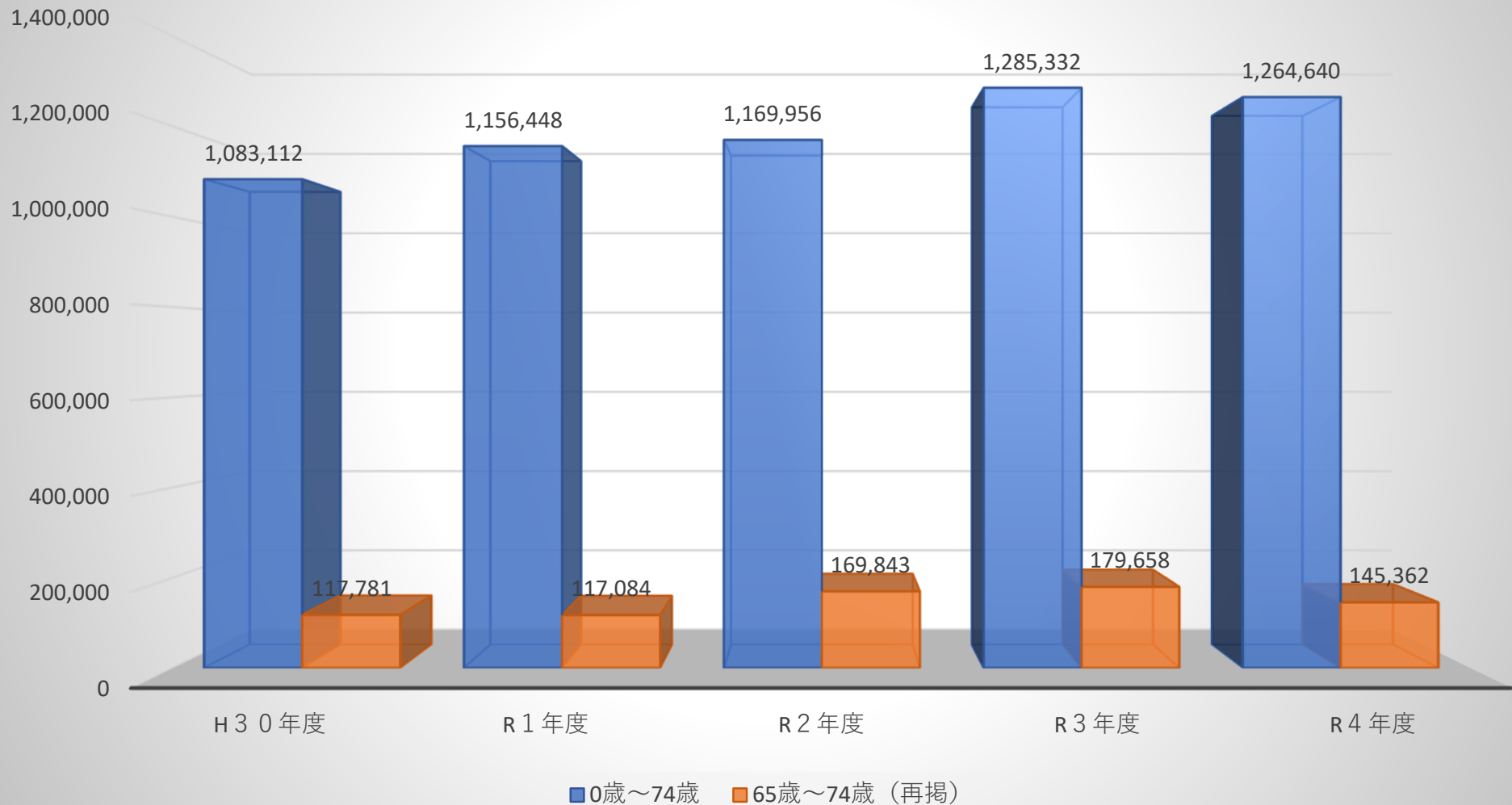
資料対応：P8



資料対応：P12

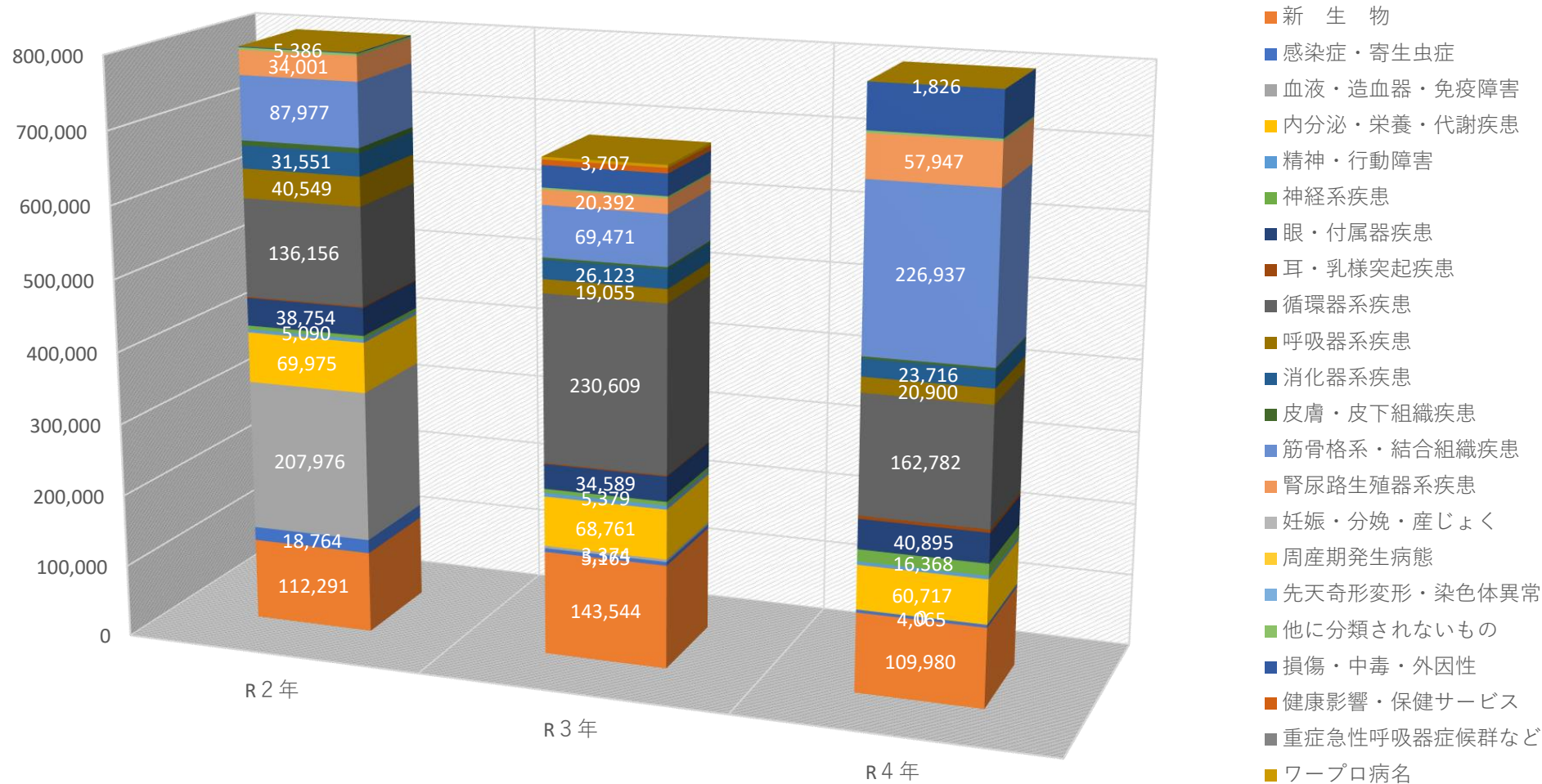


前期高齢者が占める医療費の割合



当組合の総医療費に対する前期高齢者医療費の割合は毎年10%を占めている。近畿の総合健康保険組合の中でも前期高齢者医療費の割合は常に上位に位置しており、前期高齢者の医療費適正化対策が重点課題。

前期高齢者 疾病別 一人あたり



循環器系疾患の割合が20%前後と多い。また、新生物（癌）と内分泌・栄養・代謝疾患も続いて多く、この3疾患で40%以上の医療費がかかっている状況。食事・運動等の生活習慣の改善を図るなど早期予防対策が必要。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア	被扶養者の特定健診受診率が低い。	➔	健診に関する意識を高める必要があることから、通知方法等を考慮するとともに、パート労働者（被扶養者）に対し健康診断結果データの提出勧奨の検討（協力依頼）を行う。	✓
2	イ	特定保健指導の実施率が低い。	➔	保健指導に対する理解が不足しているため、周知方法等について検討を行う。	✓
3	未選択	健診の結果、要再検査または要治療の判定となっているため保健師による指導等を行っても医療機関を受診されない方が存在する。	➔	重症化を予防するため早期受診は必須。そのため、レセプトデータ及び健診データ等により受診状況の把握を行い、事業所と連携し受診を促す。	✓
4	エ, オ	前期高齢者の医療費は全医療費の10%を占めており、近畿の総合健康保険組合の中でも常に上位に位置している。	➔	重症化を予防するため早期受診は必須。そのため、レセプトデータ及び健診データ等により受診状況の把握を行い、事業所と連携し受診を促す。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	当組合の被保険者・被扶養者では、高齢者（60歳代）で循環器系の疾患（高血圧症、心疾患、脳梗塞）及び内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病、高脂血症）による受診割合が高くなっている。	➔	健診レベル判定において「要治療」判定を受けたにもかかわらず、医療機関を受診していない方に対して治療勧奨等の保健指導を行う。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	○被扶養者の受診率が低い。 ○要二次検査対象者の未受診（放置）が多い。 ○食生活、運動等の健康意識向上が必要。	➔	○健診などの受診勧奨方法について検討が必要。 ○重症化予防のための二次検査による受診勧奨対策が必要。 ○日常の食生活や運動に対する意識対策が必要。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

被扶養者の特定健診受診率の向上
 前期高齢者医療費の削減を目指す

事業全体の目標

被扶養者の受診率を50%に引き上げる
 一人あたりの医療費を平均値以下にする

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	前期高齢者重症化予防対策
--------	--------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健康管理委員会
--------	---------

保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
--------	-------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	健康保険事務相談
保健指導宣伝	移動健康教室
保健指導宣伝	月刊誌発行
保健指導宣伝	赤ちゃんとママ
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	パンフレットの配布
保健指導宣伝	健保ホームページ
保健指導宣伝	電話健康相談
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の促進
疾病予防	生活習慣病健診（胃検査含む）
疾病予防	婦人総合健診（胃検査含む）
疾病予防	人間ドック
疾病予防	大腸がん検査
疾病予防	子宮がん検査
疾病予防	定期健康診断
疾病予防	健康管理対策
疾病予防	レセプト点検の充実・強化
疾病予防	インフルエンザの予防接種
体育奨励	施設利用券の交付
体育奨励	健康体力づくり
体育奨励	プール利用割引
その他	家庭用常備薬斡旋

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連										
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																	
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度												
アウトプット指標												アウトカム指標																		
職場環境の整備																														
保健指導宣伝	4,5	既存	前期高齢者重症化予防対策	全て	男女	65～74	加入者全員	1	イ		ア		保健師による事業所及び自宅訪問	保健師による事業所及び自宅訪問	保健師による事業所及び自宅訪問	保健師による事業所及び自宅訪問	保健師による事業所及び自宅訪問	保健師による事業所及び自宅訪問	重症化予防対策として高血圧・糖尿病のハイリスク者への受診勧奨を実施する。	前期高齢者の医療費は全医療費の10%を占めており、近畿の総合健康保険組合の中でも常に上位に位置している。										
													受診勧奨(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												対象者への面談(【実績値】 17人 【目標値】 令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)前期高齢者の医療費30%抑制を目標					
加入者への意識づけ																														
保健指導宣伝	1	既存	健康管理委員会	一部の事業所	男性	18～74	その他	1	ケ		ア		健康管理委員及び事業所担当者向けに3月と11月の年2回実施	健康管理委員及び事業所担当者向けに3月と11月の年2回実施	健康管理委員及び事業所担当者向けに3月と11月の年2回実施	健康管理委員及び事業所担当者向けに3月と11月の年2回実施	健康管理委員及び事業所担当者向けに3月と11月の年2回実施	健康管理委員及び事業所担当者向けに3月と11月の年2回実施	保健事業の充実に向けた取り組みのため、委員より積極的な意見を求めて進めて行く	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)										
													参加勧奨(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)全委員が参加できる環境整備を構築し委員会の充実を図る												参加者の増加(【実績値】 10人 【目標値】 令和6年度：20人 令和7年度：20人 令和8年度：20人 令和9年度：20人 令和10年度：20人 令和11年度：20人)事業主の協力要請					
													1	既存	健康管理事業推進委員会	一部の事業所	男女	18～74	その他	1	ケ		ア		推進委員及び事務局職員で年1回、10月に実施	推進委員及び事務局職員で年1回、10月に実施	推進委員及び事務局職員で年1回、10月に実施	推進委員及び事務局職員で年1回、10月に実施	推進委員及び事務局職員で年1回、10月に実施	推進委員及び事務局職員で年1回、10月に実施
全員参加(【実績値】 10人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)委嘱委員を増やす												課題の解決(【実績値】 1件 【目標値】 令和6年度：1件 令和7年度：1件 令和8年度：1件 令和9年度：1件 令和10年度：1件 令和11年度：1件)-																		
個別の事業																														
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者	1	ウ		ア		広報の充実 受診者の健康維持 メタボ該当者予備軍を増加させない	広報の充実 受診者の健康維持 メタボ該当者予備軍を増加させない	広報の充実 受診者の健康維持 メタボ該当者予備軍を増加させない	広報の充実 受診者の健康維持 メタボ該当者予備軍を増加させない	広報の充実 受診者の健康維持 メタボ該当者予備軍を増加させない	広報の充実 受診者の健康維持 メタボ該当者予備軍を増加させない	40歳以上の被扶養者及び任意継続被保険者を対象としてメタボリックシンドローム等生活習慣病の予防	被扶養者の特定健診受診率が低い。										
													未受診者への受診勧奨(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												特定健診受診率(【実績値】 79% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：81% 令和8年度：82% 令和9年度：83% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)-					
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	コ,サ		シ		実施計画目標達成に向けて事業主とコラボを図り、メタボ対象者への受診勧奨を行う	実施計画目標達成に向けて事業主とコラボを図り、メタボ対象者への受診勧奨を行う	実施計画目標達成に向けて事業主とコラボを図り、メタボ対象者への受診勧奨を行う	実施計画目標達成に向けて事業主とコラボを図り、メタボ対象者への受診勧奨を行う	実施計画目標達成に向けて事業主とコラボを図り、メタボ対象者への受診勧奨を行う	実施計画目標達成に向けて事業主とコラボを図り、メタボ対象者への受診勧奨を行う	メタボリックシンドロームの要因となっている生活習慣病を改善・減少させる	特定保健指導の実施率が低い。										
													未受診者への受診勧奨(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												実施率の向上(【実績値】 15.5% 【目標値】 令和6年度：18.0% 令和7年度：20.5% 令和8年度：23.0% 令和9年度：25.5% 令和10年度：28.0% 令和11年度：30.0%)メタボ該当者、予備軍を増やさない					
保健指導宣伝	5	既存	機関誌発行	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス		シ		健保だよりを年3回発行 4月号は35歳以上の被扶養者へ自宅に送付	健保だよりを年3回発行 4月号は35歳以上の被扶養者へ自宅に送付	健保だよりを年3回発行 4月号は35歳以上の被扶養者へ自宅に送付	健保だよりを年3回発行 4月号は35歳以上の被扶養者へ自宅に送付	健保だよりを年3回発行 4月号は35歳以上の被扶養者へ自宅に送付	健保だよりを年3回発行 4月号は35歳以上の被扶養者へ自宅に送付	機関誌内容の充実を図る	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)										
													内容の充実(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)-												発行回数(【実績値】 3回 【目標値】 令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)-					
													8	既存	健康保険事務相談	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス		シ		大阪・堺地区において算定基礎届受付時に事務相談会を実施	大阪・堺地区において算定基礎届受付時に事務相談会を実施	大阪・堺地区において算定基礎届受付時に事務相談会を実施	大阪・堺地区において算定基礎届受付時に事務相談会を実施	大阪・堺地区において算定基礎届受付時に事務相談会を実施	大阪・堺地区において算定基礎届受付時に事務相談会を実施
算定基礎届受付時(【実績値】 10回 【目標値】 令和6年度：10回 令和7年度：10回 令和8年度：10回 令和9年度：10回 令和10年度：10回 令和11年度：10回)-												的確な対応(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-																		
保健指導宣伝	5	既存	移動健康教室	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ		シ		保健師が事業所を訪問し講習会を開催 事業主とのコラボ	保健師が事業所を訪問し講習会を開催 事業主とのコラボ	保健師が事業所を訪問し講習会を開催 事業主とのコラボ	保健師が事業所を訪問し講習会を開催 事業主とのコラボ	保健師が事業所を訪問し講習会を開催 事業主とのコラボ	保健師が事業所を訪問し講習会を開催 事業主とのコラボ	食生活や生活習慣の改善	健診の結果、要再検査または要治療の判定となっているため保健師による指導等を行っても医療機関を受診されない方が存在する。										
													実施回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5回 令和7年度：5回 令和8年度：5回 令和9年度：5回 令和10年度：5回 令和11年度：5回)-												参加人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30人 令和7年度：40人 令和8年度：50人 令和9年度：60人 令和10年度：70人 令和11年度：80人)-					

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
5	既存	月刊誌発行	全て	男女	18～74	その他	1	ス	-	シ	-	組合会議員並びに健康管理委員を対象に「すこやかファミリー」を毎月発送	組合会議員並びに健康管理委員を対象に「すこやかファミリー」を毎月発送	組合会議員並びに健康管理委員を対象に「すこやかファミリー」を毎月発送	組合会議員並びに健康管理委員を対象に「すこやかファミリー」を毎月発送	組合会議員並びに健康管理委員を対象に「すこやかファミリー」を毎月発送	組合会議員並びに健康管理委員を対象に「すこやかファミリー」を毎月発送	健康等に関する情報提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
発送回数【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回-												対象者の把握【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-								
5	既存	赤ちゃんともマ	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	分娩後1年間月刊誌「赤ちゃんと！」を送付。2年目は季刊誌「ラシタス」を送付	分娩後1年間月刊誌「赤ちゃんと！」を送付。2年目は季刊誌「ラシタス」を送付	分娩後1年間月刊誌「赤ちゃんと！」を送付。2年目は季刊誌「ラシタス」を送付	分娩後1年間月刊誌「赤ちゃんと！」を送付。2年目は季刊誌「ラシタス」を送付	分娩後1年間月刊誌「赤ちゃんと！」を送付。2年目は季刊誌「ラシタス」を送付	分娩後1年間月刊誌「赤ちゃんと！」を送付。2年目は季刊誌「ラシタス」を送付	育児に関する情報提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
発送回数【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回-												対象者へ確実な発送【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%内容の充実								
2,7	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	1月から11月分までの医療費について、3月初旬にまとめて全受診者に送付	1月から11月分までの医療費について、3月初旬にまとめて全受診者に送付	1月から11月分までの医療費について、3月初旬にまとめて全受診者に送付	1月から11月分までの医療費について、3月初旬にまとめて全受診者に送付	1月から11月分までの医療費について、3月初旬にまとめて全受診者に送付	1月から11月分までの医療費について、3月初旬にまとめて全受診者に送付	医療費の情報提供により、医療保険制度への理解の向上と請求誤りの是正	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
送付回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回医療制度への意識向上												照会時における的確な対応【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-								
5	既存	パンフレットの配布	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	健診後における保健師のフォロー時に配付 組合会議員、健康管理委員、担当者等にダイアリーを配付 新規取得者に被保険者証送付時の健康保険のしおりを配付	健診後における保健師のフォロー時に配付 組合会議員、健康管理委員、担当者等にダイアリーを配付 新規取得者に被保険者証送付時の健康保険のしおりを配付	健診後における保健師のフォロー時に配付 組合会議員、健康管理委員、担当者等にダイアリーを配付 新規取得者に被保険者証送付時の健康保険のしおりを配付	健診後における保健師のフォロー時に配付 組合会議員、健康管理委員、担当者等にダイアリーを配付 新規取得者に被保険者証送付時の健康保険のしおりを配付	健診後における保健師のフォロー時に配付 組合会議員、健康管理委員、担当者等にダイアリーを配付 新規取得者に被保険者証送付時の健康保険のしおりを配付	健診後における保健師のフォロー時に配付 組合会議員、健康管理委員、担当者等にダイアリーを配付 新規取得者に被保険者証送付時の健康保険のしおりを配付	健康保険給付及び保健事業の内容を加入者に周知する目的で、パンフレットを配布。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
対象者に対する確実な発送【実績値】- 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												対象者への配布【実績値】100% 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%内容の充実								
5	既存	健保ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	健保からのお知らせ、健康保険に関するQ&A、優待レジャー施設等の情報を掲載	健保からのお知らせ、健康保険に関するQ&A、優待レジャー施設等の情報を掲載	健保からのお知らせ、健康保険に関するQ&A、優待レジャー施設等の情報を掲載	健保からのお知らせ、健康保険に関するQ&A、優待レジャー施設等の情報を掲載	健保からのお知らせ、健康保険に関するQ&A、優待レジャー施設等の情報を掲載	健保からのお知らせ、健康保険に関するQ&A、優待レジャー施設等の情報を掲載	各種情報を迅速かつ正確に事業所及び加入者に伝達する手段として活用する	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
確実な情報更新【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-												組合の状況の伝達【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%-								
5	既存	電話健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	ウ	-	-	-	-	-	-	-	メンタルヘルスに関するカウンセリングを実施	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
利用促進に向けた広報の充実【実績値】1回 【目標値】令和6年度：-回 令和7年度：-回 令和8年度：-回 令和9年度：-回 令和10年度：-回 令和11年度：-回-												相談者の満足【実績値】- 【目標値】令和6年度：-% 令和7年度：-% 令和8年度：-% 令和9年度：-% 令和10年度：-% 令和11年度：-%-								
7	既存	ジェネリック医薬品の促進	全て	男女	35～74	基準該当者	1	ク	-	シ	-	年2回該当者に対し自宅に直接送付	年2回該当者に対し自宅に直接送付	年2回該当者に対し自宅に直接送付	年2回該当者に対し自宅に直接送付	年2回該当者に対し自宅に直接送付	年2回該当者に対し自宅に直接送付	服用している医薬品の差額を情報提供することで医療費の削減を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
発送回数【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回-												ジェネリック医薬品への切り替え【実績値】- 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%通知対象者の50%実施を目標								
疾病予防	3	既存	生活習慣病健診（胃検査含む）	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ウ	-	カ	-	35歳以上の被保険者、被扶養者を対象に巡回健診等で受診	35歳以上の被保険者、被扶養者を対象に巡回健診等で受診	35歳以上の被保険者、被扶養者を対象に巡回健診等で受診	35歳以上の被保険者、被扶養者を対象に巡回健診等で受診	35歳以上の被保険者、被扶養者を対象に巡回健診等で受診	35歳以上の被保険者、被扶養者を対象に巡回健診等で受診	検査結果に基づいて生活習慣を見直し、病気の発症を未然に防ぐ	被扶養者の特定健診受診率が低い。
	受診動員【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												受診人数【実績値】- 【目標値】令和6年度：1,300人 令和7年度：1,300人 令和8年度：1,300人 令和9年度：1,300人 令和10年度：1,300人 令和11年度：1,300人-							
	3	既存	婦人総合健診（胃検査含む）	全て	女性	35～74	加入者全員	1	ウ	-	カ	-	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	女性を対象とし婦人科を中心とした簡易人間ドック	被扶養者の特定健診受診率が低い。
受診動員【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												受診人数【実績値】- 【目標値】令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人-								
3	既存	人間ドック	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ウ	-	カ	-	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	35歳以上の被保険者及び被扶養者（40歳以上は特定健診と併用）	検査結果に基づいて生活習慣を見直し、病気の発症を未然に防ぐ	被扶養者の特定健診受診率が低い。	
受診動員【実績値】- 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												受診人数【実績値】- 【目標値】令和6年度：1,400人 令和7年度：1,400人 令和8年度：1,400人 令和9年度：1,400人 令和10年度：1,400人 令和11年度：1,400人-								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	大腸がん検査	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ウ	-	カ	-	標準の検査項目とされていない健診受診者で希望者に対し実施	標準の検査項目とされていない健診受診者で希望者に対し実施	標準の検査項目とされていない健診受診者で希望者に対し実施	標準の検査項目とされていない健診受診者で希望者に対し実施	標準の検査項目とされていない健診受診者で希望者に対し実施	標準の検査項目とされていない健診受診者で希望者に対し実施	大腸がんの早期発見・早期治療	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
受診動奨【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												受診人数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：100人 令和9年度：100人 令和10年度：100人 令和11年度：100人)事業主とのコラボ								
3	既存	子宮がん検査	全て	女性	18～74	加入者全員	1	ウ	-	カ	-	35歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施	35歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施	35歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施	35歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施	35歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施	35歳以上の被保険者・被扶養者を対象に実施	子宮がんの早期発見・早期治療	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
受診動奨【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												受診人数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)事業主とのコラボ								
3	既存	定期健康診断	全て	男女	18～74	加入者全員	1	イ	-	カ	-	生活習慣病健診受診者以外の被保険者を対象に実施	生活習慣病健診受診者以外の被保険者を対象に実施	生活習慣病健診受診者以外の被保険者を対象に実施	生活習慣病健診受診者以外の被保険者を対象に実施	生活習慣病健診受診者以外の被保険者を対象に実施	生活習慣病健診受診者以外の被保険者を対象に実施	検査結果に基づいて生活習慣を見直し、病気の発症を未然に防ぐ	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
受診動奨【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												受診人数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,850人 令和7年度：1,850人 令和8年度：1,850人 令和9年度：1,850人 令和10年度：1,850人 令和11年度：1,850人)事業主とのコラボ								
4	既存	健康管理対策	一部の事業所	男女	18～74	基準該当者	1	ケ,ス	-	ア	-	被保険者に対し面談や文書により保健師が指導	被保険者に対し面談や文書により保健師が指導	被保険者に対し面談や文書により保健師が指導	被保険者に対し面談や文書により保健師が指導	被保険者に対し面談や文書により保健師が指導	被保険者に対し面談や文書により保健師が指導	健診後のフォロー及び健康相談等	前期高齢者の医療費は全医療費の10%を占めており、近畿の総合健康保険組合の中でも常に上位に位置している。	
事業主への協力依頼【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												実施人数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：300人 令和7年度：300人 令和8年度：300人 令和9年度：350人 令和10年度：350人 令和11年度：350人)-								
8	既存	レセプト点検の充実・強化	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	システムによる点検及び担当者による審査	システムによる点検及び担当者による審査	システムによる点検及び担当者による審査	システムによる点検及び担当者による審査	システムによる点検及び担当者による審査	システムによる点検及び担当者による審査	医療給付の適正化を図る	前期高齢者の医療費は全医療費の10%を占めており、近畿の総合健康保険組合の中でも常に上位に位置している。	
審査時間を増やす【実績値】 100業者 【目標値】 令和6年度：2業者 令和7年度：2業者 令和8年度：2業者 令和9年度：2業者 令和10年度：2業者 令和11年度：2業者)複数の委託業者へ依頼する												査定金額を増やす【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：110% 令和7年度：110% 令和8年度：110% 令和9年度：120% 令和10年度：120% 令和11年度：120%)外部委託業者とのコラボ								
8	既存	インフルエンザの予防接種	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	一人につき年一回、1,500円を補助	一人につき年一回、1,500円を補助	一人につき年一回、1,500円を補助	一人につき年一回、1,500円を補助	一人につき年一回、1,500円を補助	一人につき年一回、1,500円を補助	インフルエンザの予防及び重症化の軽減	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
広報の強化【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												接種者の拡大【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2,800人 令和7年度：2,800人 令和8年度：2,800人 令和9年度：2,800人 令和10年度：2,800人 令和11年度：2,800人)-								
体育奨励	8	既存	施設利用券の交付	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	サイクリススポーツを通じて健康体力づくりを推奨	サイクリススポーツを通じて健康体力づくりを推奨	サイクリススポーツを通じて健康体力づくりを推奨	サイクリススポーツを通じて健康体力づくりを推奨	サイクリススポーツを通じて健康体力づくりを推奨	サイクリススポーツを通じて健康体力づくりを推奨	運動機会の提供、啓発による健康増進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	広報の強化【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												利用者の拡大【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：280人 令和7年度：280人 令和8年度：280人 令和9年度：300人 令和10年度：300人 令和11年度：300人)-							
	8	既存	健康体力づくり	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	9月上旬から下旬にかけて開催	9月上旬から下旬にかけて開催	9月上旬から下旬にかけて開催	9月上旬から下旬にかけて開催	9月上旬から下旬にかけて開催	9月上旬から下旬にかけて開催	運動機会の提供、啓発による健康増進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	広報の強化【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												利用者の拡大【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：800人 令和7年度：800人 令和8年度：800人 令和9年度：800人 令和10年度：800人 令和11年度：800人)-							
8	既存	プール利用割引	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	夏季に京阪神のプール利用割引券を斡旋	夏季に京阪神のプール利用割引券を斡旋	夏季に京阪神のプール利用割引券を斡旋	夏季に京阪神のプール利用割引券を斡旋	夏季に京阪神のプール利用割引券を斡旋	夏季に京阪神のプール利用割引券を斡旋	運動機会の提供、啓発による健康増進	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
広報の強化【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回-												利用者の拡大【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-								
その他	8	既存	家庭用常備薬斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	疾病予防策として年2回斡旋	疾病予防策として年2回斡旋	疾病予防策として年2回斡旋	疾病予防策として年2回斡旋	疾病予防策として年2回斡旋	疾病予防策として年2回斡旋	家庭常備薬の充実による疾病の自己管理の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
	委託業者との交渉【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回-												利用者の拡充（被保険者に対する割合）を図る【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診動奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他